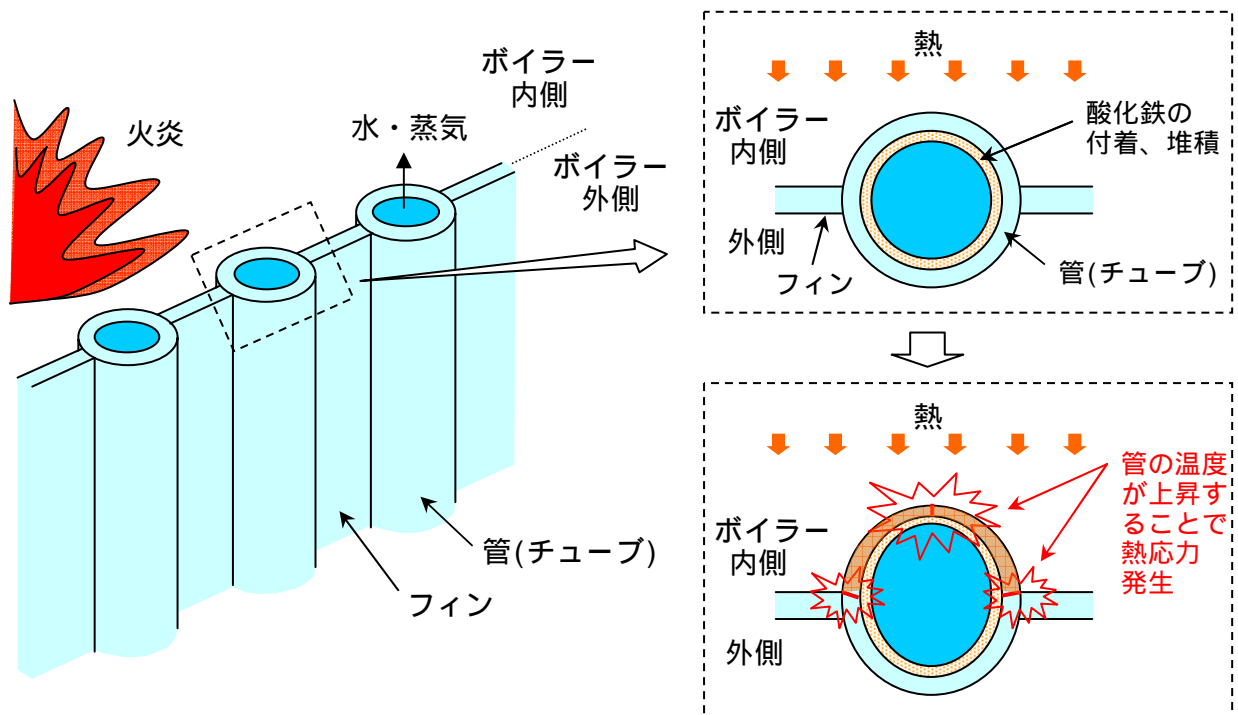


【原因】

- ボイラー側面の管の内面に、スケール(酸化鉄)が局所的に付着、堆積し、管(チューブ)の温度が上昇し熱応力が発生。
- その熱応力が起動停止及び負荷変化により繰返し発生したことによる疲労で亀裂が発生・進展し損傷したものと想定される。



【復旧】

- 損傷箇所及び類似管(同様の高さの管)の全数(約1,300本)を、新管に取替実施。

〔第5号ボイラー〕

